

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	基礎デザイン実習C	
科目基礎情報					
開設学科	プロダクトデザイン科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
担当教員情報					
担当教員	吉田慎一		実務経験の有無・職種	有・グラフィックデザイナー	
学習目的					
「描く、塗る、切る、貼る」といったアナログ作業に基づいた「ものづくり」を通じて色彩、素材、構造について学び、平面・立体構成力の基礎を身につける。目的と用途に応じて求められている情報を理解し、教員とのコミュニケーションを図りながら制作過程から完成するまでのスキルを習得する。また、自分が制作した作品について明確に説明できるようプレゼンテーションの基礎を養うことを目的とする。					
到達目標					
グラフィック、Web、インテリア、プロダクトデザイン全科共通のスキルとして以下を目標とする。①教員から得た情報を理解し、作品制作に臨むこと。②制作にあたって世間一般のトレンドやニーズをリサーチし、自分の作品に落とし込むこと。③ものづくりの制作過程で、平面または立体の構成力を養うこと。④自分の制作物について明確に説明、アピール出来ること。					
教育方法等					
授業概要	上の学年に進級した際にあるべき作品制作に臨む「考え方」の根本を養うことを目標とする。個人ワーク主体。クラス＝目標を共にする仲間という認識をもって発案、制作相談、検証、発表、評価を行う。主体的に授業に参加することで自律した、いちデザイナーとしての意識を高め、集中した制作と円滑なコミュニケーションができるようになることを目指す。				
注意点	学生の自由な発想のもと、制作における相談、発表、検証、評価を行う。より良い作品制作に必要な学生間、教員とのコミュニケーションと制作過程を重視する。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題完成度	50%	提出課題の完成度を評価する		
	リサーチ	10%	制作準備と過程を評価する		
	プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	ガイダンス、課題スケジュール		授業の流れを把握し理解することができる		
2回	コミュニケーションツールの作成		コミュニケーションにおけるデザインの役割を理解することができる		
3回	表現手法1		表現の可能性を模索することができる		
4回	表現手法2		偶発的にできた形状を視覚伝達を目的とするデザインに落とし込むことを習得することができる		
5回	表現手法3		トリミング、レイアウト感覚を習得することができる		
6回	表現手法4		制作物を完成させ提出、プレゼンテーションすることができる		
7回	グッズ制作1		制作物の構造を理解し、紙ならではのデザイン性を探求することができる		
8回	グッズ制作2		適切なデザイン用具の使い方を理解することができる		
9回	グッズ制作3		用途や目的に応じたデザインと半立体による多角的な視覚伝達の方法を学ぶことができる		
10回	グッズ制作4		制作物を完成させ提出、プレゼンテーションすることができる		
11回	平面構成1		自分が発案したコンセプトや世界観を視覚的に表現することができる		
12回	平面構成2		適切なデザイン用具の使い方を理解し、表現に応用することができる		
13回	平面構成3		目的と用途を理解し、リサーチを行い複数の草案を作ることができる		
14回	平面構成4		発案から提出までの過程進捗を確認し、納期を遵守する感覚を身につけることができる		
15回	平面構成5		制作物を完成させ提出、プレゼンテーションすることができる		